

(様式1-4)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 平成30年度 帰還環境整備事業等

省庁名: 内閣府

平成30年1月時点

本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接 / 間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備 考
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、 福島県又は避難指示・ 解除区域市町村等以外 の者が負担する額を減 じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 (注6)	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	
1	(3) - 23 - 1 -	帰還住民放射能対策機器点検校正事業	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 3,987 < 3,987 >	(0) 3,987 < 3,987 >	(0) 3,987 < 3,987 >			
2	(3) - 23 - 2 -	健康管理支援事業(個人積算線量測定)	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 80,470 < 80,470 >	(0) 80,470 < 80,470 >	(0) 80,470 < 80,470 >			
3	(3) - 23 - 3 -	放射線被ばく検診事業	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 103,782 < 103,782 >	(0) 103,782 < 103,782 >	(0) 103,782 < 103,782 >			
4	(3) - 23 - 4 -	工業製品放射線測定業務	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 3,175 < 3,175 >	(0) 3,175 < 3,175 >	(0) 3,175 < 3,175 >			
5	(3) - 23 - 5 -	飲用井戸水核種濃度及び水質測定事業	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 28,512 < 28,512 >	(0) 28,512 < 28,512 >	(0) 28,512 < 28,512 >			
11	(3) - 24 - 1 -	放射線健康相談事業	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 44,242 < 44,242 >	(0) 44,242 < 44,242 >	(0) 44,242 < 44,242 >			
32	(3) - 23 - 7 -	自家消費野菜等放射能簡易分析事業	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 32,635 < 32,635 >	(0) 32,635 < 32,635 >	(0) 32,635 < 32,635 >			
34	(3) - 23 - 9 -	土壌等環境放射能測定事業	市内全域	市	南相馬市	直接	定額	(0) 22,847 < 22,847 >	(0) 22,847 < 22,847 >	(0) 22,847 < 22,847 >			

(様式1-4)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 平成30年度 帰還環境整備事業等

省庁名: 内閣府

平成30年1月時点

本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接 / 間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備 考	
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、 福島県又は避難指示・ 解除区域市町村等以外 の者が負担する額を減 じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 (注6)	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e		
							合計額	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
								319,650	319,650	319,650	0	0		
								< 319,650 >	< 319,650 >	< 319,650 >	< 0 >	< 0 >		

県名	福島県	担当部署名	復興企画部 企画課	担当者氏名	久保田 幸利
市町村名	南相馬市	電話番号	0244-24-5358(内265)	メールアドレス	kubota.yukitoshi@city.minamisoma.lg.jp
地方公共団体の組合名					

- (注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(実施要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
- (注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
- (注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第5の1の(3)におけるbと同様)
- (注4、5)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。
- (注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に福島再生加速化交付金(帰還環境整備)実施要綱第4の7の に該当した場合に記載する。
- (注6)各交付担当大臣が定める交付要綱において、交付額の算定方法が定められている場合には、その規定に基づき算定すること。
- (注7)基金を造成して帰還環境整備事業等を実施する場合には、当該事業の(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち福島県等以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。